

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

いとしご増刊

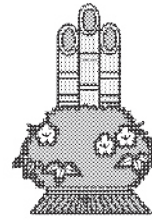
きずな 絆

第95号

発行2006年

1月号

1月10日



購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。

発行人：社団法人日本自閉症協会

編集人：社団法人日本自閉症協会 奈良支部

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005 大和郡山市矢田山町 84-10

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

2006年1月
あけましておめでとうございます
昨年(2005年)4月1日施行の発達障害者支援法が施行されました。我々が切望したこの法律制定を求める運動に、皆様のご理解とご支援をいただいたこと、深くお礼申し上げます。

さて、平成18年1月10日、奈良県にも発達障害者支援センター「でいあ」が開設されることになりました。奈良県においても、これまで障害者福祉の谷間にあった自閉症の教育・福祉に、やっと陽が当たるようになってきました。

今年(2006年)は社団法人日本自閉症協会奈良県支部が平成10年5月に発足総会を開催してから8年目に当たります。当初はまさにゼロからの出発でありました。奈良県で自閉症を理解してもらうため、奈良県支部会員が知恵を出し合い試行錯誤の草の根的活動を続けてきたことが思い出されます。今後はこの支援センターを中心に協力体制をとり、自閉症児者の支援内容の充実に向け、さらに会員の皆様の力を結集して、支部として

謹賀新年



もがんばって活動していきたいと思えます。自閉症児者の住みやすい奈良県づくりのため、皆様、今後ともよろしく願います。

支部長 河村舟二



各位

日本自閉症協会奈良県支部の
河村です。

ついに2006年1月10日に
奈良県にも発達障害者支援センターが発
足する事になりました。

これまでの、皆様方のご支援ご協力あり
がとうございました。
以下は今日「でいあ〜」センター長から
送られてきたFAXです。
お知らせ下さい。

日本自閉症協会 奈良県支部

支部長 河村 舟二様

時下ますますご清栄のこととお喜び申し
上げます。

この度、奈良県より委託を受け、
2006年1月10日より奈良県発達障害
支援センター「でいあ〜」を実施するこ
ととなりました。

発達障害を持つ方の、地域における総合
的な支援体制の整備を推進し、豊かな生
活に繋げてゆくためにスタッフ一同尽力
する所存です。

つきましては、貴団体よりのご支援を賜
りたく、今後ともよろしくお願いいたし
ます。

尚 当センターの連絡先は以下のとおり
です。

〒630-8424 奈良市古市町1-2

奈良仔鹿園内

電話 0742-6217746

FAX 0742-6217747

メール deardeer@m5.kcn.ne.jp

ホームページ http://www5.kcn.ne.jp/
~deardeer/

(※尚、メール、ホームページにつきま
しては、1月より利用可能となりますの
でご了承ください)
平成17年12月15日
奈良県発達障害支援センター でいあ〜

センター長 岡本 とも子



平成17年度独立行政法人福祉医療機構
の助成による

「自閉症児者の自立生活支援指導者養成
事業・自閉症児者生活支援講座」第5回
自閉症理解講座 志賀先生講演会

アンケートまとめ

〈内容についていかがでしたしょう
か？興味深かった点 理解出来なかった
点があればお書き下さい〉

保護者

・子供は小さいが将来に向けての心構え、
今から始められる対策等、再認識できた。
先の事としないで今から長い目で見通し
を立てる事ができるような講演だった。

・19才大学生 アスペルガーの息子、就
労の事は今まさにこれからの事とし真剣
に考えなければならぬ。

・知的に高い人の仕事の離職率が高い？
・地域中学生 毎日毎日 中学生生活で社
会的プレッシャーを感じていると思う。

・家庭でも落ち着きがない様子の事が多
い。落ち着いた安定した生活を送れる工
夫をしていきたい。

・とても参考になった(中学生)
・社会的プレッシャー」と「1人でこな
せる」の図を用いた説明が分かりやす
かった。診断はされても障害を認められ
ない範囲の子供に自立して生活させるに
は親として何をしていくべきか？今の

ニート世代の多くは(この診断されても
障害をみとめられない範囲に)当てはま
らないのか・・・

・今まで通える所があればいいと考えて
いたが、就労先の違いで社会的コストの
差が出ることを知り、企業就労させたい
と思った。

・自立就労するまでに それぞれの年齢
や時期においてどのような指導をすれば
よいか、具体的な例を含めて もう少し
詳しく聞きたかった。

・プロジェクトと資料の書き足しが多
く、きつちりと話を写せなかったが、話
の内容は濃く丁寧で参考になった。

・自閉症者が やすらかな生活をおくる
ことの大切さに気付いた。

・スクリーン画面の内容も全部レジメ
が欲しかった。

・社会的プレッシャーに強くなるために
は 多くの体験が必要と思っていたが
毎日淡々とスケジュール通り同じような
繰り返しの生活をしていく経験が根底に
必要と知った。思い違いをしている人も
多いのではないだろうか？

・現実に雇用とは？具体的な説明で良
かった。

・淡々と変化の少ない生活が続けるのは
難しい。

・ジョブコーチの重要性を痛感、一般化
させる為にも もっと詳しい説明が欲し

かった。 福祉関係者 ・とても勉強になった。学校で取り組んで欲しいこと（逆説）に関しての話は福祉施設でも言える事と実感した。 ・重度の方が多い授産施設。仕事について考える糸口になった。一人一人の力を大切にして もっと「待たせない」を考える取り組みをしていきたい。 ・自閉症の（認知面での）特徴の5つの課題が興味深かった。 ・障害をもった方々の卒業後の生活支援は難しい。就労しても生涯安定した生活が保障される訳ではないので 支援は生涯必要だが どこまでの支援をどの機関が担うのが難しい。 ・雇用については本人の能力を見ることがなく面接の判断で不採用になる事が多いので 企業に対しての働きかけは難しいと考える。 教員 ・成人の話だったので 中学教師として直接結びつかない。 ・学童期にどんな学校生活をさせるかのヒントを受けたので実践したい。 ・自閉症の診断＝障害では ない話の話が新鮮だった。 ・5回目のみの参加で 惜しいことをした。	〈実践に生かす事ができそうですか〉 保護者 ・（生活）行動を与えるのではなく 自分からする、自分で選ぶ、選ぶ事の出来る自主性を育てる為の接し方にしていきたい。 ・今日の講演会の事をカウンセリングの先生と相談して参考にしたい。 ・本人の意志や気持ちを落ち着いてさせる様に私も（親も）おちついて出来ることからしていく。 ・日々の安定した生活を大切にする。自立課題に取り組む。 ・学校で問題行動を起こしている子供の親に 本人に合った環境を用意する事で刺激に耐えられる力、持ち前の力が前に出てくる事を教えたい。 ・社会性プレッシャーに強くなるようにしたいが 何から実践すればよいか分からない。 ・ジョブコーチは少ないのでステップアップしていく方法を知りたい。 ・高機能の子供、来年卒業で就職のヒントになった。 ・年齢別で将来を見据えたサポートを教えてもらったので 今家庭でしなければならぬ事をしていこうと思う。 ・今日の話では実践できることはまだない。 ・長いスパンで考える大切さ、実践でき	るか不安。 福祉関係 ・レベルの高い人たちの話だったので 思いとは少し違ったが 参考になった。 ・ライフサイクルの見直しを考え直したい。 ・GHのスタッフをしている。勉強になった。作業苦手だが 人間関係の良いメンバーさんに対して ひらめきが出た。 ・他の職員に今日の話を伝え 考え実践に生かしたい。 ・養護学校と授産施設での考え方の違いを保護者（利用者）に伝えたい。淡々と生活する大切さ 手を出しすぎず 出来る事をつぶさない事が大切と思った。 教師 ・進路を考える上で 少し参考になった（中学教師） ・今できる事をひとりで一定時間やりとげる。これをしっかりさせたい。 ・高等部2年生。ひつたりとした本人の過ごし方をさせながら アプローチしていくという言葉覚えておきたい。 ・障害児学級を本年度から受け持ちましたので どんな事を注意しながら指導していくと将来の就労に生かせるのか 気になり参加。根気よく与えられた仕事を黙々とこなしていけるような子が 就労につながるなどと考えました。 ・具体的に思い通りにいける就労場所が
一番多い地域がどこか知りたい。 今後どのような話を聞きたいですか〉 保護者 ・自閉症に関する勉強会を増やしてほしい。あらゆるテーマで聞きたい！ ・TEACCHを奈良でもして欲しい。 ・就労について 普通学校と養護学校その後の進路について ・作業所について 作業内容運営など具体的に ・自閉症の人の老後の話を聞きたい。将来に対しての心構えへの参考にしたい。兄弟に負担をかけたくないが入所しかないの？家庭では不安。 ・入所も変化が大きい。 ・会員外にも講演を開けてもらい有り難い。 ・社会人としての生き方（自閉症者の） ・ジョブコーチの現実、実際の状態。 ・アスペルガーについて 福祉関係 ・知的障害者全般について こだわり。 ・本人からの視点について聞いてみたい。 ・以前 電機神奈川福祉センターを見学しました。神奈川県を取り組みがとても勉強になりました。「利用者をとりまく環境がどんな形であることが大切か？」や「スタッフの在り方」について学び	るか不安。 福祉関係 ・レベルの高い人たちの話だったので 思いとは少し違ったが 参考になった。 ・ライフサイクルの見直しを考え直したい。 ・GHのスタッフをしている。勉強になった。作業苦手だが 人間関係の良いメンバーさんに対して ひらめきが出た。 ・他の職員に今日の話を伝え 考え実践に生かしたい。 ・養護学校と授産施設での考え方の違いを保護者（利用者）に伝えたい。淡々と生活する大切さ 手を出しすぎず 出来る事をつぶさない事が大切と思った。 教師 ・進路を考える上で 少し参考になった（中学教師） ・今できる事をひとりで一定時間やりとげる。これをしっかりさせたい。 ・高等部2年生。ひつたりとした本人の過ごし方をさせながら アプローチしていくという言葉覚えておきたい。 ・障害児学級を本年度から受け持ちましたので どんな事を注意しながら指導していくと将来の就労に生かせるのか 気になり参加。根気よく与えられた仕事を黙々とこなしていけるような子が 就労につながるなどと考えました。 ・具体的に思い通りにいける就労場所が	るか不安。 福祉関係 ・レベルの高い人たちの話だったので 思いとは少し違ったが 参考になった。 ・ライフサイクルの見直しを考え直したい。 ・GHのスタッフをしている。勉強になった。作業苦手だが 人間関係の良いメンバーさんに対して ひらめきが出た。 ・他の職員に今日の話を伝え 考え実践に生かしたい。 ・養護学校と授産施設での考え方の違いを保護者（利用者）に伝えたい。淡々と生活する大切さ 手を出しすぎず 出来る事をつぶさない事が大切と思った。 教師 ・進路を考える上で 少し参考になった（中学教師） ・今できる事をひとりで一定時間やりとげる。これをしっかりさせたい。 ・高等部2年生。ひつたりとした本人の過ごし方をさせながら アプローチしていくという言葉覚えておきたい。 ・障害児学級を本年度から受け持ちましたので どんな事を注意しながら指導していくと将来の就労に生かせるのか 気になり参加。根気よく与えられた仕事を黙々とこなしていけるような子が 就労につながるなどと考えました。 ・具体的に思い通りにいける就労場所が

- たい。
- ・成人後の生活を考えるテーマで
 - ・様々な制度の利用について
 - ・就労を継続させる為のアドバイス
 - ・自閉症者とのやり取り（コミュニケーション）について
 - ・具体的な事例について・・・（自閉症者との）
 - ・障害と薬について
 - ・重度の（知的に重い）自閉症者への支援について
 - 教師
 - ・各発達段階での対応について
 - ・自閉症について（アスペ・高機能を含め）勉強会に参加したい。

平成17年度 赤い羽根共同募金助成金事業

（社）日本自閉症協会奈良県支部 自閉症の理解と支援のための映画上映会

映画「マラソン」がスクリーンに帰ってきます。



この度日本自閉症協会奈良県支部では、赤い羽根共同募金の助成金により、映画「マラソン」の上映会を開催いたします。

この映画は、実在する自閉症の青年・ヒョンジンさんの実話を基にされて制作された映画で、2005年1月から韓国で上映され、韓国歴代映画トップテン入りした作品です。

日本でも2005年7月から全国で公開され、話題になりました。

そんな映画「マラソン」が1日限りではありますが、スクリーンに帰ってきます。是非この貴重な機会を利用して、皆様でご覧いただきます様よろしくお願い致します。

編集後記

あけましておめでとうございます。奈良支部8年目を迎えてということで、いつの間にか「絆」も95号になっていました。今冬は、近年の中では冬の寒い冬だと思えます。日本海側豪雪地帯の皆さんの毎日の苦労は計り知れないものと考えます。体調には十分気を付けて行きましょう。今年一年よいことがありますように！お祈りいたします。春はそこまで来ています。

日時・・・2006年2月26日（日）

受付、開場・・・13:00 開始・・・14:00（約120分）

場所・・・ やまと郡山城ホール 大ホール

HP <http://www.ykjohall.jp/>

大和郡山市北郡山町211番地3 TEL 0743-54-8000

定員・・・ 1000名（事前申し込み不要、先着順）

料金・・・ 無料

問い合わせ： 日本自閉症協会奈良県支部事務局（河村）